

全国農業

NATIONAL AGRICULTURAL NEWS 新聞

2023年(令和5年)

12月8日 金曜日
月4回金曜日発行

地方総合

枯露柿のカーテンが見頃

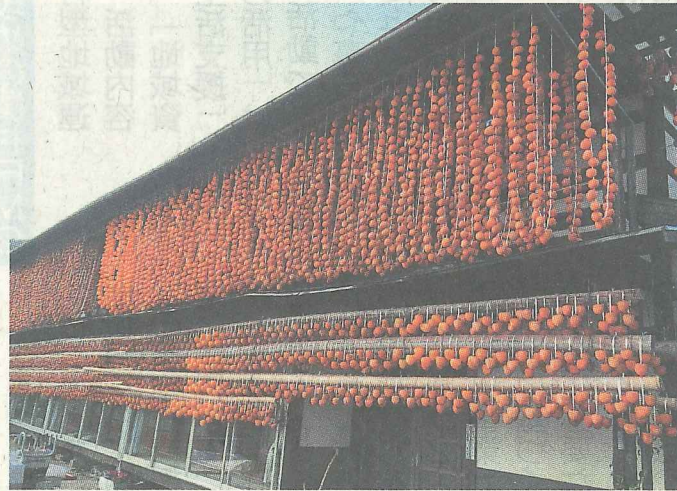
出荷期迎え冬の風物詩が観光資源に

【山梨】甲州市塩山の松里地区で、特産品の枯露柿が出荷期を迎えている。

枯露柿は、戦国武将の武田信玄公が陣中食として生産を奨励したことが始まりとされており、天日で乾燥させる際に、実全体に太陽の日が当たるようコロコロ転がして乾燥させたことからその名がついたとされている。水分が25%から30%ほどで「粉」と呼ばれる白い甘み成分が出るのが特長だ。

枯露柿は軒先につるし乾燥させることから、毎年11月ごろになると市内の多くで枯露柿のカーテ

山梨・甲州市 武田信玄公が陣中食として奨励



柿のカーテンが観光の目玉に

柿の作り方などを伝える授業を行っており、将来の担い手育成にも力を注いでいる。

同JA松里支所の手塚遼指導員は「温暖化の影響で、枯露柿づくりの時期に気温が低下しなかったり、木枯らしが吹かなかったりしてきている。地域の風物詩である枯露柿の生産が末永く続くよう、乾燥機の導入など時代にあった支援を行っていきたい」と語る。

ンを見ることができ、観光の目玉にもなっている。また、JAフルーツ山梨では毎年、地元小学校に特別授業として枯露